

大館市バリアフリーまちづくり推進協議会 中間報告 意見取りまとめ

No.	項	意見内容	回答
1	53	PDCAのC（評価）をどのタイミングでどのように評価するのか大事だと思う。評価の仕方を考えておくべき。 ・協議会内でディスカッション ・一般アンケート 等	マスタープランはバリアフリー化の方針を示すものであるため、具体的な整備指標ではなくアンケート調査結果をもとにした評価を検討していきます。 例：マスタープラン内に掲載したアンケートと同内容にて実施し、数値の変遷等をもとに評価、見直しを検討
2		図やグラフが多数掲載されているが、重複するような内容や重ね合わせる情報が多く分かりにくいものもあるため、本編への掲載は重要な項目に絞り込んだ方が良いのではと思いました。	文章をなるべく最小限にし、図面やグラフで視覚的に情報を伝えられるようにしましたが、ご指摘のとおり一つの図面の中の情報量が多くなってしまったものも多数ございました。来年度策定予定の基本構想ではより具体的かつ多数の情報を扱うことになることが予想されますので、掲載情報の重要度についても考慮し、まとめていくよう努めていきます。
3	4	移動等円滑化促進地区イメージの図面について、他県の事例で使用していた「移動等円滑化促進に関する基本方針の一部改正について」を出典とするイメージ図が分かりやすかった。	シンプルなイメージ図に変更いたしました。
4	14	鉄道の情報とバスの情報が混在しているので、掲載順を変えた方がよいと思います。	P12, 13では鉄道、バス双方の交通体系の状況を図面にて示し、P14, 15でそれぞれについて分析を行うという掲載順を取っております。しかし、P12の図面の名称が「バス路線図」となっており混在している印象を与えるため、修正いたします。
5	22	施策1～施策16の一覧表と、①のアンケートの関連が不明なので説明が必要と思います。	P21のアンケートとP22施策の重要度・満足度の調査の関連について追記しました。 またご指摘を受け、①②を関係付けた分析により、市民の満足度を増加させる取り組みも今後検討していきます。
6	28	バリアフリーに関する地域ニーズ、現況にP21～P22のアンケート結果が盛り込まれていない。	ご意見のとおり修正いたしました。

7	40	<p>早口地区の生活関連経路の設定は移動等円滑化促進地区の外周道路のみとなっている。設定する促進地区面積が他地区に比して非常に小さいため図面に表示されている空白の道路が際立って見えるため、地区内を通る経路の設定が無いことに違和感を感じる。また、縮尺表示のフォントは合わせた方が良いでしょう。</p>	<p>生活関連経路の設定については条件を設定し選定しています。そのため早口地区に関しては他地区より選定箇所が少なく、範囲も狭くなっています。また縮尺を合わせることで逆に地区外が空白になることから、拡大し地区全体が分かるように表示させていただいております。なお、縮尺表示のフォントについては合わせるよう修正します。</p>
8		<p>社会資本総合整備計画の策定期間・手順に関すること 令和4年度以降の各種事業の実施段階において、道路等のバリアフリー化のハード整備については、市が新たに社会資本総合整備計画を策定し、国交省の交付金を活用することになると思われますが、計画はいつ頃、どのように策定されるのか、今後開かれるバリアフリーまちづくり協議会と計画の関連性はどうかを教えてください。</p>	<p>事業計画は来年度の策定を予定しており、それに伴い活用する補助金については、社会資本総合交付金に絞らず来年度検討する事業内容に見合ったものを活用していくこととなります。また、協議会では、事業必要箇所の検討や事業実施の進捗管理、今後の対応を協議していくこととなります。</p>
9		<p>トイレ整備に関する意見 外出しやすい街づくりを推進する際、移動制約者のもとより、誰でも利用できるトイレの整備に関しても極めて高いニーズがあると思われます。特に障害者、お年寄り、子供連れの方はその必要性をより実感していると思いますが、あらためてマスタープランを点検すると「トイレ」に関する記述がとても少ないことに気付きました。 17頁に、先導的共生社会ホストタウン登録に基づく関連事業の中で「JR大館駅にバリアフリー対応のトイレを整備」、44頁には「市役所新庁舎のバリアフリートイレの整備」が紹介されるにとまっています。 本来であれば、促進地区の設定の際、生活関連施設の一つに「トイレ」が設定され、その設置状況についても把握されて然るべきではなかったかと思えます。バリアフリーまち歩きマップでも、トイレはどこまで把握されているかが気になるところです。 そこで、今後基本構想特定事業計画の立案に移りますが「トイレの整備」についても、しっかりと焦点をあてていただくことを要望します。 トイレ整備は長期にわたり維持管理を伴うことから、官民連携なくしては進まないと思えますが、特に扇田地区、早口地区においては、商店街区にバスの待合場所、見守り・支え合い活動などコミュニティー場所の確保等のニーズも高いことから、空き店舗等の活用により、多機能・複合型の拠点づくりの実現が一步すすむことを強く希望します。</p>	<p>まち歩き点検にて公共トイレも点検を行いましたので、その結果を踏まえ、トイレのバリアフリー化についても検討し、方針に一部追記しました。またご意見いただいた各地区毎の実態に応じた対応も今後検討していけるよう努めていきます。</p>

10		<p>バスの利便性向上や待合環境に関する市民からの提案に関して</p> <p>パブリックコメントにて提案があった次の事案に関しては、実現するためにどのような制約や課題があり、誰がどのようにすれば実現できるのか、或いは実現が困難なのかについて、今後協議会で情報交換等を行いながら理解を深めたいと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅街を通るバスルートの変更 ・バス停など待合環境の整備 ・小売業者等が運行するお買い物バス 	<p>基本構想策定の際には、実際にどの事業から実現していけるのか、課題と効果を協議会等で協議しながら検討していきます。</p>
11		<p>図表の数値については降順の方が見やすいのでは</p>	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>
12		<p>パブリックコメントについては、多くの質問や意見に対し、非常に丁寧な回答がなされていてわかりやすくまとめていただきました。</p> <p>また、協議会で出た意見等についてもしっかりと訂正や加筆をしていただいたことでとても見やすくなったと思います。</p> <p>事務局の方々のご苦労に感謝いたします。</p>	<p>いただいたご意見を参考にして、来年度の基本構想、事業計画の策定、そして今後のバリアフリー化のための事業推進に努めます。</p>
13	31	<p>パブリックコメント結果内「交通安全に関すること」を受け、視覚障害者の歩行中の事故防止を図るため、音響信号機の整備を進めてまいります。</p>	<p>まち歩き点検に参加した方々も、音響信号機への関心が高く、身近に感じられている分野だと思えます。</p> <p>当市としても、市民ニーズ等の情報共有により整備促進に努めていきます。</p>

大館市地域公共交通活性化協議会委員 意見取りまとめ

No.	項	意見内容	回答
1		<p>どのレベルの障害者が、どのレベルまで自立して生活、移動させたいのかの明確な目標がないと思う。その目標を達成させるため、個々のバリアフリー施策が必要になってくる。</p> <p>例・障害者が自立して移動し、就業場所に行ける →そのために交通、移動施設にどんな対応をしたら良いか →就業場所としてどの地区（エリア）を優先的に（重点的）に整備するか ・障害者が自立して映画鑑賞や買い物に行ける →同上</p>	<p>どのレベルまで自立するのかについては個々人で希望の異なる内容であるため、障害の種別・等級に応じて一律に自立のレベルを目標にするのではなく、個々人の希望に応じた自立ができるバリアフリーまちづくりを目指していきたいと検討しております。そのためにも、障害当事者の生活・就労ニーズ、事業者の雇用ニーズ等の把握に努め、それに応じた施策の優先度を検討していきたいと考えています。</p>
2		<p>今後更に必要性が高まる公共交通の分野において、様々な方々のご意見をいただきながら、さらに改善していければと思います。</p>	<p>バリアフリーまちづくり推進協議会と公共交通活性化協議会、また利用者や事業者との情報共有を進め、公共交通の確保・維持に努めていきます。</p>
3		<p>このマスタープランをもとに、公共交通におけるバリアフリーネットワークが構築できるよう、利用者の意見を聴き、具体的行動を検討し、R3年度に基本構想を取りまとめてください。</p>	<p>ご意見のとおり、来年度はアンケート調査やまち歩き点検等を実施し、市民の意見を取り入れることができるように検討していきます。</p>
4		<p>音響信号機について、必要な箇所の検討を続けてまいります。</p>	<p>本市としても、市民ニーズ等の情報共有により整備促進に努めていきます。</p>
5		<p>大変よくできた計画だと思えます。 公共交通の視点から一つ述べます。 元気な時は交通不便もバリアフリーも特に感じることはありませんが、障害者になったり高齢になって車の運転ができなくなって初めて気が付くものと思っています。 高齢者でも障害者でも、自立して生きていくためには通院・買い物が自分でできる必要があります。小さな意味でのバリアフリーは建物や歩道等の使いやすさと思いますが、大きな意味でのバリアフリーは、交通体系を含めた住みやすさ、移動のしやすさだと思います。バス路線が縮小・廃止されていく中、いかに移動しやすい交通システムを作り上げていけるかが、超高齢社会で求められていると思います。 田代地域のNPOが取り組もうとしている送迎事業が先に進んでいないようですが、路線バスが縮小する中で、買い物や病院に行く手段の減少が気になります。 市には、やる気のある事業者積極的にアプローチし、実現に向けた支援をして欲しいと願っていますし、大館市内全体に波及して欲しいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、まち全体でのバリアフリーを考えた際には交通体系も含めた移動・生活の観点が必要になり、本マスタープランでもその部分を重要視しています。バリアフリーまちづくり推進協議会と公共交通活性化協議会、また利用者や事業者との情報共有をすることで移動手段の確保・円滑化を進めていきます。</p>

6	<p>都市再興基本計画で掲げた公共交通を「もっと活用」する施策において、例えば、市内の事業所や役所が協力して「公共交通通勤日」を設定、一人ひとりが公共交通を見つめなおす機会となり、市民運動のきっかけになるのではないかと考えました。</p> <p>自然災害が増える中、事業継続のためのリスク管理への関心も高まっており、またゼロカーボンシティ実現の観点からも取り組むべきではないでしょうか。今後の施策の中で検討いただきたいと思います。</p>	<p>昨年12月の先導的共生社会ホストタウンへの認定に加え、バリアフリーまちづくり計画に着手することとなったのは、バリアフリー化だけでなく他の施策に対しても、大きくプラスに働くと考えます。今後もバリアフリー化推進により、様々な面で市民にとって住みよいまちとなるように検討を進めていきます。</p>
7	<p>未来の高齢化社会に向けて公共施設、公共交通のバリアフリー化が欠かせない状況になっている昨今、市建設部や活性化協議会事務局の皆さまにはマスタープランの策定作業は大変なことだったろうと敬意を表したいと思います。全ての市民、住民にやってよかったと思われるような方法や施策で「まず、隗からはじめよ」のことわざ通り、はじめは小さくても今後のバリアフリー広域化を目指し、全市内に広げていっていただきたい</p>	<p>まずは移動等円滑化促進地区において、バリアフリー化を促進し、その取り組みが市内全域に広まっていくよう、事業推進はもちろん市民への教育啓発にも努めていきます。</p> <p>また、市民の声を取り入れることに努め、より満足度の高い施策を実現できるようにしていきます。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・先回の参院選にて障害者議員が議場に入ることになりバリアフリー化が更に促進された。鉄道では、目の不自由な方の転落や転落者を救助しようとした韓国留学生が亡くなるなど残念な事故が発生した経緯もあり、バスの乗降においても協力し合うなど、社会や市でも更なるバリアフリーの促進を図っていただきたい。 ・御成町では道路拡幅工事中ではあるが、バス停は高齢者が8割以上で23pの雨風や寒さを防げる対策も必要と思います。 ・とある機会に市長が道路はまちづくりの基本と申し上げている。新たに住宅が建ち発展しそうところは道路を広くできるよう先行取得すべき。例えば、東台は車1台分の幅しかなく、拡幅は難しい現状だと思います。 ・税務署通りや御成町にはかなりの税金が投入されているのに比べ、扇田地区は都市計画税を徴収されていたが・・・ ・市の人口は2021年で70,400人、2040年には47,000人の見込とのことだが、それに伴い自治体が4割減の予想、限界集落はどう扱われるのか、部落がなくなる。北鹿地区の市合併もありか。 ・バス乗降者が減っていく中での運賃等の対応策、難しい課題と考えます。 ・いとくSC向いの建物解体後、高低差があり、整地し再配分すればと思っていたが、結果そうなり、道路も広くなり良かった。家が並ぶと都会になると思います。 ・計画に関しては実況見分されてのことですので何もいう事ありません。時の流れで変わることはその時々への対応を。しかし100%応えることは難しいと思いますが... 	<p>ご指摘のとおり、人口減少によって現状の施設・体制のままでは対応の難しい様々な課題がバリアフリーまちづくりにはあります。公共交通、道路、都市計画など本マスタープラン内の基本方針を軸にしながら、多様な方々と協力して市民のためとなる対応を今後も検討していきます。</p>
9	<p>一つのことを実施するにあたって、これほどまでに緻密に立案されていたことに敬意の念を感じます。</p>	<p>来年度の基本構想、事業計画の策定、そして今後のバリアフリー化のための事業促進に一層努めます。</p>